

フォルサ ブラジル  
Forca Brasil〜がんばれブラジル〜

## ブラジル代表を 歓迎・応援しよう!

ようこそ遠野へ!

7月4日から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する5人制サッカーブラジル代表チームが本市で事前合宿を行います。6月17日には、同代表を歓迎し、応援するためのペナントが遠野駅前通りに設置されました。作業は、岩手県建設業協会遠野支部青年部会と遠野市観光推進協議会のメンバーら20人が実施。街路灯にペナント40個を取り付けたほか、市内の施設等にも設置して歓迎の準備をしました。



ペナントを取り付ける青年部会員

ブラジルを知る!

異文化交流講座が6月18日、遠野東中学校と遠野西中学校で開かれ、生徒ら約200人が参加。ブラジル国籍を持つNTTクラリティ株式会社の加賀山直義(なまがし)ヘンリーさんを講師に、ブラジルの歴史や文化、ブラインドサッカーについて理解を深めました。講座では、ブラジルの公用語「ポルトガル語」のあいさつや会話も学習。ヘンリーさんは「言葉の壁を怖がらないで」「ブラジルの人は交流好き、積極的に声を掛けてほしい」と5人制サッカーブラジル代表との交流を後押ししました。



ブラインドサッカー体験も行われました

## 覚えよう! ブラジル公用語 ポルトガル語のあいさつ

(セジャン ベン・ヴィントス アトノ!!)  
「ようこそ遠野へ!」⇒「Sejam bem-vindos à Tono!」

(オハ)  
「やあ」⇒「Olá!」

(オブリガド / オブリガダ)  
「ありがとう」⇒「Obrigado / Obrigada」  
(男性が言う時)(女性が言う時)

ポルトガル語で  
あいさつしよう!!



6月14日 第38回全国地名研究者遠野大会

## 遠野郷の地名を研究発表

全国地名研究者遠野大会(日本地名研究所、市主催)は、あえりあ遠野交流ホールで開かれ全国各地から約200人が参加しました。同大会は、遠野の歴史や風土、『遠野物語』をテーマにした研究を発表するもので、本市では2回目の開催。研究者らは、遠野の地に密着した研究内容を披露し、参加者と歴史の奥深さを共有しました。



参加者は多様な研究に耳を傾けました

6月22日 株式会社ビッグフィールド事業所立地協定

## 地域経済活性化に官民連携

大野ゴム工業(株)(東京都、大野洋一社長)と本社製品の保管と輸出を行う(株)ビッグフィールド(東京都、池田美穂社長)が市と立地協定を締結しました。3者は固く握手を交わし、新たな雇用創出や地場産業の発展に連携を約束。本市にビッグフィールド本社を移し、東北横断道と釜石港を活用して国内外への物流業務を展開する予定です。



左から渡部裕子総務担当、大野社長、本田市長

6月23日 第44回東北馬力大会馬の里遠野大会

## 人馬に届け、大声援!

第44回東北馬力大会が宮守町柏木平優遊広場で開催され、市内外から約6,500人が詰め掛けました。レースは300kgから975kgの重りを載せたそりを引き、2つの坂を乗り越えタイムを競うもので、全8レースに27頭が出走。引き手の掛け声のもと、出走馬が力強く障害を駆け登ると、観客からは大きな声援と拍手が送られました。



頑張れー! と大きな声援が送られました

6月2日 町民運動会

## 地域の絆深める大運動会

同運動会は市内全9町で行われ、地域住民ら約5,000人が参加しました。各会場では、工夫を凝らした多彩な種目と東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催を記念した種目を実施。会場には、笑顔と歓声が広がっていました。参加者は運動会を通じて世代間の交流を深め、地域の絆を強くしました。



よーい、ドン! 各世代がバトンを繋ぐリレー

6月9日 早池峰山山開き

## 登山シーズン幕開け!

日本百名山に数えられ、遠野三山の一つである早池峰山が山開きを迎え、約600人の登山客が令和初の早池峰登山を満喫しました。小田越登山口で入山式が行われた後、登山客は山頂を目指して出発。山頂では安全祈願祭が行われ、早池峰・岳神祭が権現舞を奉納したほか、記念品の絵馬が手渡されました。



一步一步、山頂を目指しました

6月10~12日 チャタヌーガ市の大学職員が特別授業

## 国際的視野を広げよう!

姉妹都市・米国チャタヌーガ市の大学職員による特別授業は3日間、市内の中学・高校などで開かれました。講師は、国際教育局長として留学生のサポートなどにあたっている鈴木丈夫さん(神戸市出身、米国在住)。生徒ら約500人は、世界で活躍する日本人から、国際的視野を広げる大切さを学びました。鈴木さんは自身の経験を踏まえ、英語学習のコツや日米の教育環境の違いなどを解説。「世界に視野を広げ、自分の可能性にチャレンジしてください」と生徒らにエールを送りました。11日には、市役所とびあ庁舎を訪れ、今後の英語教育や姉妹都市交流について市関係者と意見交換をしました。



チャタヌーガ市国際教育局長 鈴木丈夫さん

5月28日 上閉伊酒造(株)が体験教室

## 酒米手植えに泥まみれ挑戦

青笹町の上閉伊酒造(株)は、日本酒ができるまでの過程を理解してもらおうと、同社裏の田んぼで田植え体験を開催しました。同体験は、今年で5年目。青笹小学校の5年生19人が参加し、約17アールの田んぼに素足で入り、酒米になるひとめぼれの苗をていねいに植えました。秋には収穫体験も行う予定です。



児童は泥の不思議な感触も楽しめました

6月8日 市緑化祭「里山フェスタ2019」開催

## 緑あふれる郷土を次世代へ

里山フェスタは、上郷町細越の初山市有林で行われ、地域住民や市内の森林愛護少年団員ら482人が参加しました。同フェスタは、未来につなぐ森林づくりをテーマに開かれ、参加者はカラマツの苗木を植樹し、森林の役割や里山を守ることの大切さに理解を深めました。最後には、記念標柱を設置し、苗木の成長を願いました。



小雨のなか、苗木2500本を植樹しました



1\_視野を広げる大切さを伝える鈴木さん(左)。生徒は食い入るように話を聞いていました  
2\_市民向けの特別授業も行われ、参加者は多くの気づきを得た様子でした